

ク車
テック
口野
大成
と日

無人走行試験を開始

民間企業初の舗装評価路

大成ロテックと日野自動車は、次世代道路技術の早期実装を目指す取り組みを実施している。大成ロテックが国内民間企業として初めて完成させた舗装評価路で、日野自動車による自動運転レベル4に相当する自動運転荷重車両の無人走行試験を始めた。C A S E（コネクテッド・自動

化・シェアリング・電動化）技術を活用した顧客起点のソリューションの実現を目指す。両社は、5台の自動運転荷重車両の無人運行による舗装の耐久性試験を2025年夏をめどに実施する。5台の自動運転荷重車両の24時間連続稼働は、国内で初めてだとい

で安全な車間距離を保つほか、人や障害物を検知して停止する。トラックヤードからは、自動運転で入退場する。大成ロテックが整備した舗装評価路は、舗装の耐久性を短時間で評価できる。新たな舗装技術の研究、開発から実用化、普及までの期間を大幅に短縮し、カーボンニュートラルや長寿命化といった課題解決に役立つ舗装技術の早期の社会実装に役立つ。



自動運転荷重車両

自動運転荷重車両は、ベース車両である大型トラック「日野プロフィア」に自動運転技術を搭載したもので、舗装評価路を時速40キロで走行する。走行位置や経路は、LiDAR（レーザー式測距装置）、GNSS（衛星測位システム）データ、カメラで把握し、通信により制御

効率的に運用するため、自動運転荷重車両の駐車と点検・整備をするトラックヤードと給油施設を舗装評価路の近くに備える。トラックヤードはS造平屋建て延べ870平方メートル。給油施設には、給油機1台と1万リットルの地下タンクを備える。所在地は福島県田村市常葉町山根字宇藤1-9。敷地面積は約14・4畝。